

# 令和8年度に向けた行政評価の見直しについて

(新座市政策評価委員会の会議運営に係るアンケートにおける主な意見)

## 1 審査対象施策について

- ・ 審査対象施策の選定根拠が分かりにくかった。
  - ・ そのときのトレンド（今回であれば下水道の整備等）に合わせたテーマになっておりとてもよかった。
  - ・ 評価に当たり、内容が難しく理解できない部分もあったが、会議の中で説明いただき納得できた。特に、治水対策推進に関しては、分かりやすい補足説明がなされてよかった。
- ⇒ 選定の基準に基づき計6施策を選定しました。今回、初めて所管部による資料作成・説明を行い、一定の評価を頂きましたが、「3 事前質問」における御意見も踏まえ、より分かりやすい説明となるよう努めます。

参考 審査対象施策選定の視点（いずれかに該当するもの）

- ① 計画策定後の社会経済状況の変化を踏まえ、方向性の確認が必要な施策
- ② 施策の達成状況等の確認が必要な施策（進捗に遅れのある成果指標等に着目）
- ③ 現年度（評価実施年度）・前年度（評価対象年度）に市が重点的に取組を進めており、委員会で審議する必要性の高い施策
- ④ その他、外部有識者及び市民の目線で議論することが特に有意義であると考えられる施策

## 2 会議資料について

- ・ ペーパーが多すぎる。補足説明資料は投影のみでよいのでは。事務事業評価シートも余白を減らして枚数を削減すべき。
- ⇒ 審査に当たり必要な情報を見極めながら、極力、資料の量を削減できるように努めます。  
なお、事務事業評価シートについては、評価対象とする事務事業を令和8年度は更に絞りたいと考えているため、枚数は削減されると見込んでいます。

## 3 事前質問について

- ・ 市の問題意識など、議論や評価等のポイントを挙げておいてほしい。
  - ・ 資料だけでは、限られた時間で文脈や内容を理解することが難しい。また門外漢の事業については基礎的な説明がないと評価は難しい。担当課によるレクチャーやQ&Aなどで理解を深めるステップがあるとよい。
- ⇒ 昨年度の課題を踏まえ、市の問題意識など御指摘の点は施策評価シートの記載に当たり留意しましたが、引き続き改善に努めます。  
今回初めて審査対象施策の説明資料や所管部による説明を導入しましたが、施策ごとに盛り込むべき内容に違いがあると感じるなど、課題

や難しさが見えました。また、会議当日は、全体的に時間が足りず、説明や質疑の時間が不十分だった面もあります。

審査対象とする施策を適正数に絞ることや、資料や当日の説明の内容の充実、質問のための時間を確保した上で審議していただくなど、より理解を深めていただけるような方策を検討します。

## 4 その他

- ・ 評価指標／基準があらかじめ定められているため、それに議論が制約されてしまう側面があるが、定まった指標についての事後評価という側面と、今後のより良い政策・行政評価のための議論という側面と、分けて議論できる機会があるとよいと思う。

⇒ これまでは施策評価シート中の「総合評価」についての議論が中心でしたが、「今後の方向性」についても議論いただけるよう会議の進行等において工夫します。

なお、市では、令和8年度から、次の後期基本計画の策定に着手するところであり、前期基本計画の評価結果を踏まえた策定作業を行うこととなります。そうした点も踏まえ、今後の方向性についても本委員会からの意見を伺えるよう検討します。